

小学校・中学年編 第1部 9 「小学生のころ」

- 1 学年 第4学年
- 2 主題名 明るい心で
- 3 内容項目 1 - (5) 自分の特徴に気付き、よいところを伸ばす。
- 4 テーマ A 人としてあるべき姿
- 5 主題設定の理由
 - (1) ねらいとする価値
失敗や困難なことにくじけず、自分らしさを発揮しながら自分のよさを伸ばし、将来の希望を持って明るい気持ちで生活しようとする心情を育てる。
 - (2) 資料について
この資料は、京都府出身で京都大学大学院医学研究科 本庶佑 教授による書き下ろし文である。本庶教授が小学生の時に、実際に夢を持って将来について考えたことを、書き表した文であり、自分らしさを発揮しながら自分のよさを伸ばし、将来の希望を持って生活しようとする素晴らしさについて、児童にわかりやすい表現で示している。
- 6 本時のねらい
自分の特徴を知り、短所や不得意なものを努力によって望ましい方向へ改め、自分のよさを一層伸ばしていこうとする心情を育てるとともに、自分が興味を持ったことに、積極的に取り組む素晴らしさについて理解させる。
- 7 授業改善の視点

失敗や困難なことにくじけず、目標に向かって「熱い心」で取り組んでいる野口英世博士の姿を自分に照らし、自分のよさを伸ばそうとする心情に注目させる。
職場体験学習や様々な体験を通して、児童自身が考えたり感動したりしたことを引き出し、将来について考える素地ができるように工夫する。

8 本時の展開

過程	学 習 活 動	主 な 発 問 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導 入	1 自分のことを考える	今、皆さんが興味を持っていることは何ですか。 ・野球のこと ・飼っているハムスターのこと ・職場体験学習でお世話になった料理店での調理のこと	・学校や家庭、職場体験学習で興味を持たことや興味のあることについてを思い出させる。	
展 開	2 資料「小学校のころ」を読んで話し合う。	本庶さんが野口英世博士に感動したことはどんなことですか。 ・すさまじい情熱 ・熱い心 ・困難を乗り越えようとする努力によって素晴らしいことができるということ	・野口英世博士について簡単に説明する。 ・本庶さんの感動について考えさせる。	野口英世博士の写真

		<ul style="list-style-type: none"> ・人はこんな事ができるのかということ ・いじめに負けずに、いじめを乗り越えて大きな仕事をしたこと。 <p>みなさんが今までに「すさまじい情熱」を持って取り組んだことについて、聞かせてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や計算大会で100点を取れるように自主勉強をした。 ・野球の練習が厳しくても、うまくなりたいので頑張っている。 ・好きなことは時間を気にせずにやっている。 <p>本庶さんが小学生の時の生活を変えたのはどんなことがあったからですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望遠鏡の中に見えた土星の輪の不思議なすがたを見て大きな感動を覚えたとき。 ・宇宙の果てに何があるのかわかりたいと思うようになってから。 ・天文学の壮大さを感じたとき。 <p>本庶さんがみんなに伝えようとしていることは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるということは自分が自分の生きる価値を見出すこと。 ・何事にも負けない強い心を持つこと。 ・感動することの大切さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すさまじい情熱について考えさせる。 	<p>生きるということは、自分が自分の生きる価値を見出すことであるということに気付く。</p>
	<p>3 様々な人がいる いろいろなことに興味をいだき、希望を持って頑張ろうとしていることを考える。</p>	<p>自分が感動して頑張ろうと思ったことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのノートを見て、自分もきれいに書こうと思った。 ・オリンピックで北島さんがメダルを取ったので、自分もスイミングを頑張ろうと思った。 ・野球やサッカーの練習が嫌になったけど、友だちが頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと思った。 ・掃除の時間に床ふきをがんばっている友だちがいて、自分も頑張っているという気持ちになり、楽しくできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なものに触れ、どのようなものに感動できるかについて自由に思ったことを話し合わせる。 	
<p>終 末</p>	<p>4 感想を交流する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味や将来について考えようという思いにつなげる。 	

小学生のころ

本庶 佑ほんじよ たすく

写真

野口英世 博士 医者・決心
伝染病の研究・人類に大きなこうけん
黄熱病の研究・感せん、五十一さいでなくなる。

本庶さんの感動

○こんなんを乗りこえる努力
人にはすばらしいことができる。

○すさまじいじょう熱IIあつい心

・漢字・計算大会で百点とれるように自主勉強をする。
・すきなことは時間を気にせずやっている。
・野球の練習がきびしくても、うまくなりたいのでがんばっている。

人にはいろいろな側面

感動

写真

小学五年生のときの大きな感動

きょうみ

○望遠鏡の中に見えた土星の輪の不思議なすがた
医学く天文学

うちゅうの果てに何があるのか知りたい

伝えたいこと
生きるといふことは、自分が自分の生きる
かちを見いだすといふこと。

たくさんの感動

・友だちのノートを見て、自分もきれいに書くころ。
・オリンピックで北島さんがメダルをとったので、スイミングをがんばる。
・野球やサッカーの練習がいやになったけれど、友だちががんばっているので自分もがんばる。
・学習発表会で6年生が頑張って合奏をしていたので、自分もピアノの練習を頑張る。

10 児童の反応等

< 児童の一言感想 >

私も、本庶佑さんと同じように土星の輪のことを不思議に思ったことで、天文学が好きになりました。星のことを本で調べると、もっといろいろなことが分かりました。例えば、双子座の弟は不死身なので、兄が死んだとき自分は死ねないので、大神ゼウスに「僕も死なせて下さい。」とお願いをしに行ったそうです。私は、このような星座の物語を忘れることができません。だから、この「小学生のころ」を勉強をして、私も、もっともっと天文学に楽しくなっていきたいと思いました。私は、自分を信じ続け、夢を追っていきたいと思います。これからもがんばって、いろいろ調べていきたいです。

人ってこんなにすばらしいんだあ~と思いました。人はいろいろな性格や個性があって、素晴らしい感動や嬉しさがあるんだなあ、と思いました。私は、自分の夢に向かって「羽ばたこう」と思う気持ちを常に持って、自分のいけないところを直していくことができ、自分の良いところもちゃんと理解できている人になりたいです。野口英世博士は自分の興味を持ったものに、深い情熱を持っていて、「すごいなあ~」と思いました。私も、野口英世博士のようなすばらしい人になることを目指して行きたいと思います。どんどん成長していきたいです。

私は今日の学習で、クラスみんなが熱い心を持っていて、将来の夢に向かってがんばっていることを知りました。それに、みんなは「小学生のころ」を読んで感動し、自分もこれになりたい、あれになりたいという気持ちを持っていることも知りました。人にはいろいろなところがあることに気が付きました。例えば、いつもカーツと頭にくると何でもすぐに投げ出してしまう 君なんだけど、私が困っていると「荷物持ってあげよか」とか、声を掛けてくれるんです。本当はやさしい一面もあるんだなあということを知りました。私はみんなと同じように熱い心を持って、あこがれている夢に向かってつき進みたいです。

私は小学生になって、先生の仕事を見て「すごいなあ」と感動しました。だから今の私の夢は、学校の先生になることです。そのために、ちょっとだけだけど問題集をやったり勉強をがんばっています。先生みたいに、おもしろくてみんなに好かれる先生になればいいなあと思います。本庶佑さんは、野口英世博士から感動をもらったけど、私は学校の先生から、クラスみんなはテレビやいろんなところから感動をもらっています。感動をもらえるってすごく幸せなことだと思います。高校生、大学生になっても自分の感動を忘れないようにしたいです。

